



鈴木 みどり 議員
やとみ志政会

問 弥富ブランドの金魚をどう活かすか

答 ヤトミアquaを観光拠点施設に



▲ヤトミアquaの金魚すくいコーナー

問 本市は「金魚のまち」と言われているが、どこでそれを感じるか。

答 [観光課長] 一番感じるのはヤトミアqua(弥富金魚水族館)。

問 庁舎6階に金魚に関するものを置いている。

答 ヤトミアquaでの取組に力を注ぐ。

問 金魚すくいはオープン以来何人か。

答 約6200人。

問 値上げの影響は。

答 寒い時期を迎え、減少傾向。

問 金魚すくいコーナーで、金魚の名前、飼い方法など、ポップで表示しては。

答 展示水槽に、職員が作成した金魚の特徴等を記した手書きのものを表示している。

問 コーナーのレイアウトの工夫を。

答 楽しめる雰囲気作りは大変重要であると認識。

問 金魚ミニショップを開く。

答 一周年記念イベントで弥富金魚漁業協同組合に依頼し、水槽の販売を実施。

問 市長の見解は。

答 [市長] 来館者から親しまれ、再度訪れたいと思う新たな観光拠点施設として、引き続き取り組んでいく。

問	*LGBTQ+の理解と認識を
答	性の多様性をHPで周知

問 教育指導の中で、話し合うことはあるか。

答 [教育部長] 性の多様性の理解を進め、差別や偏見の払拭について継続的、計画的に、家庭科や道徳の時間で、話し合う時間を設けている。

問 教育として必要と考えるか。

答 学校教育全般を通して更に深めていく。

問 差別や偏見をなくすための取組は。

答 [健康福祉部長] 人権擁護委員と連携を図り、市内保育所において紙芝居等を使い人権・啓発を行っている。

問 市長の見解は。

答 [市長] 個性や多様化に配慮した誰もが生きやすい社会の実現を目指す。

性的少数者への理解を始めたとした人権の啓発を推進していく。

***LGBTQ+**
セクシャルマイノリティ(性的少数者)全般を指す言葉。